

# 妊産婦の医療や健康管理等に関する調査の実施について(案)

## 【調査の目的】

本調査は、妊産婦に対する保健・医療体制に係る現状とニーズを把握し、「妊産婦に対する保健・医療体制の在り方に関する検討会」における議論に資するデータを収集・分析することを目的とする。

## 【調査客体】

分娩取扱医療機関約500施設を病院・診療所の別等により層化抽出し、1週間程度の調査期間中に

- ① 妊婦健康診査(36週以降)のために受診した妊婦
  - ② 入院中の褥婦
  - ③ 産後健診(産後2週間や1ヶ月等)で受診した褥婦
- を対象とする。

※分娩取扱医療機関は2,273施設(平成29年医療施設調査)

## 【調査内容】

- (1) 妊娠・出産歴や基礎疾患の有無等の基本属性、妊娠中の医療機関の受診状況
- (2) 妊娠中・産後の診療で十分配慮されていると感じた経験、妊娠中・産後の診療で配慮が不十分と感じた経験、妊娠中・産後の診療で特に配慮が必要と考える事項
- (3) 妊娠中・産後の健康管理で留意している事項、妊娠中・産後の健康管理に関して受けている支援等の事項 等

## 【スケジュール】

- 2月下旬～3月上旬 調査票の作成、対象施設等の設定
- 3月中旬 調査の実施 ※オンラインによる回答入力とする。
- 3月下旬 集計、分析
- 4月以降 検討会に結果報告